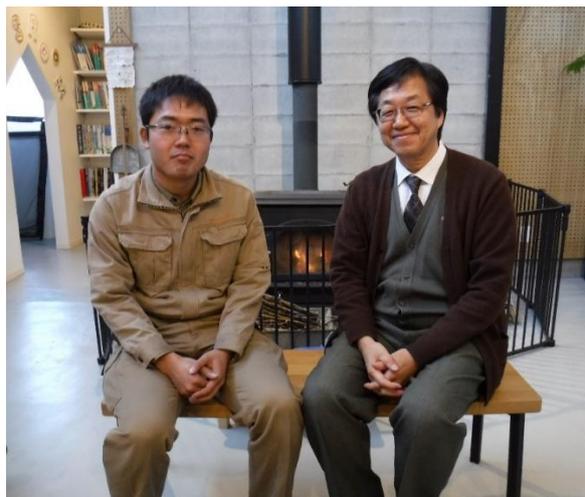


当センターの職業訓練を受講後、山陽地所株式会社 カンパニーハウジング山忠様に正社員として就職され、住宅建築部門で施工管理補助をされている朝元 洗貴様（住宅リフォーム技術科 平成30年8月生）に、現在のお仕事等についてお話を伺いました。

さらに、専務取締役 福原 良二様に、朝元様の採用や仕事ぶりについてお話を伺いました。

（写真）左：朝元様 右：福原専務取締役



* * * * *

就職したら一生懸命頑張るという覚悟で受講。ポリテクセンターで、目標に向かってまじめに勉強すれば、専門的な知識を習得できる。

住宅リフォーム技術科を受講された朝元様に、現在のお仕事や就職の経緯などについてお話を伺いました。

◇現在のお仕事は？

- 住宅建築部門で施工管理の補助をしています。現場で工事が始まる前の電気や水道の申請の手続き、工事に必要な重機や建築材料の手配、大工やインテリアコーディネーターなどさまざまな業者との調整、工事完了後のお客様への引き渡しまでを担当しています。簡単なものであれば、業者に発注せず、自分で取付工事もします。

◇前職は？

- スーパーマーケットや飲食店でアルバイトをしていました。

◇就職されて、いかがですか？

- 就職してもうすぐで1年になりますが、覚えることが多く、わからないことばかりでたいへんです。現場に出て監督・確認するものがあるし、体を使って作業をしたり、体力、精神力、頭を使う仕事です。弊社に就職するまで、私はフリーターでその日暮らしてました。ポリテクセンターで勉強して就職すると決めたから、就職した

ら一生懸命頑張るという覚悟で受講していました。職業訓練を受講して就職したので、階段を上った実感はありますが、もっともっと階段を上らないといけないと思っています。

◇職業訓練を受講しようと思われたのは？

- ー 1月に就職したいと思っていたので、8月から受講したらちょうどタイミングがいいと考えていました。8月開講のコースは住宅リフォーム技術科と電気設備技術科の2コースで、住宅関係の方が役立つと思い、住宅リフォーム技術科に応募しました。

◇受講の目標は？

- ー 何でもいいからとにかく学んだことを吸収して、どんな仕事をするかはそれから考えようと思っていました。

◇受講前、ポリテクセンターの印象は？

- ー ポリテクセンターは、親戚が別の科を修了していて、受講を勧められました。見学説明会（※）に参加せず、パンフレットを見て決めたので、受講する前は、訓練内容は漠然としかわかっていませんでした。

※「見学説明会」では、募集している科の内容等の説明と職業訓練を行う実習場の見学を定期的に行っています。

◇受講していかがでしたか？

- ー 8月開講のコースは、住宅施工の実習から始まりました（※1）。実際にやってみて、パンフレットで見ていたものが理解できました。墨付け、さしがねも初めて触りました。ノミ研ぎをするとは思っていませんでしたが、作業をするとすぐ切れ味が悪くなるから、現場作業をするには必要だということも実感できました。グループで建屋を建てましたが、もっとうまくやれたのではないかと、次に機会があったらもっとうまくやりたいと思っています。建築CADは自分に合っていたようで、学べてよかったです。建築基準法など建築法規は覚えることが多く、リフォーム計画（※2）はチームで相談したり、作業分担を決めて進めるので、慣れていなくて疲れました。

※1 住宅リフォーム技術科のカリキュラムは、建築設計3ヶ月間と建築施工3ヶ月間で構成されており、建築設計から始まるコースと建築施工から始まるコースがあり、開講月によって異なります。

※2 「リフォーム計画」では、高齢者向けに和室から洋室へのリフォームを数名のグループで計画し、プレゼンテーション資料を作成して発表します。

◇職業訓練で習得したスキルで、今のお仕事で役立っていることは？

- － ほぼ全部役立っています。受講したことで、住宅建築の作業の流れや専門用語がわかります。しかし、職業訓練で学んだことだけでは知識が足りなくて、まだまだ覚えることが多いというのが現状です。

◇就職活動や当センターの就職支援は、いかがでしたか？

- － アルバイトをしていたので、ポリテクセンターでの就活が初めての就活でした。わからないことをひとつひとつ教えてもらいました。書類を送付するときの封筒の書き方、そのまま入れずにクリアホルダーに入れて応募書類を送付するなど、細々としたことまで教えていただきました。ひとりで就職活動をしていたら、こんなにきちんとできなかったと思います。

◇就職決定の決め手は？

- － 施工管理であれば、仕事を通して住宅建築の広い知識を習得できると考えました。それと、プライベートなことになりますが、老後は父が住む島に移住したいので、仕事を引退したあともその経験やスキルを活かせると思いました。

◇今後の目標は？

- － 資格を取得することです。2級建築士、できれば1級建築士を取得したいです。実務経験の年数が緩和されたら、是非挑戦したいと思っています。実務を経験して、電気の専門的な知識が必要だということがわかったので、電気工事士も取得したい資格です。施工管理技士を勧められています。建築士取得を優先しようと考えています。

また、仕事面では、上司や先輩方にいろいろ教えていただいているので、その恩返しをしたいと思っています。一人前になること、一人で現場を任せられるようになること、そして、今部長にしかできないようなリフォームの案件の段取りをすることが、私の目標です。

◇就職活動中の方や職業訓練を受講されている方にメッセージをお願いします。

- － 今、経験や専門的な知識がなくても、目標に向かってポリテクセンターでまじめに勉強すれば、必ず習得できます。



食器棚はカンパニーハウジング山忠様のオリジナル

* * * * *

面接で、ポリテクセンターで学んだことを仕事に活かしたいという気持ちが伝わってきた。

住宅リフォーム技術科の内容はすべて役に立つ。

専務取締役 福原 良二様に、朝元様の仕事ぶりや採用の決め手、今後の採用についてお話を伺いました。

◇事業内容は？

- こちらのコネクタスタジオの事業は、住宅の新築・リフォーム・リノベーションです。本社の山陽地所株式会社は、一般建築、宅地建物取引業、分譲地の開発販売をしています。

弊社では、住宅を建築されたお客様を対象に、いろいろなイベントを開催しています。お客様のご希望があれば、このスタジオでマルシェをしたり、建築中、建築後のお客様が弊社の工房で書棚などを製作されます。

◇採用の決め手は？

- 施工管理の求人はこれまでも出していました。施工管理補助の求人を初めて出したら、朝元さんがすぐに応募されました。面接で生真面目という印象を受けました。いろいろと話を聞いて、朝元さんなら一生懸命やってくれるだろうと期待できましたし、ポリテクセンターで頑張っていること、そして、勉強したことを仕事で役立てたいという気持ちが伝わってきました。

◇仕事ぶりは？

- これまでの11ヶ月間は、施工管理のサポートとしての仕事は十分できています。前向きな姿勢で仕事に取り組んでおり、弊社で住宅を建築されたお客様や協力会社等からも、担当を変えるようにと要望されたことがありませんので、朝元さんは評価されていると判断しています。

◇御社が求めている人材？

- はい。施工管理の仕事に必要な知識は膨大にあり、覚えてもらわなければならないことはたくさんありますが、施工管理の補助として十分できているという点では即戦力と言ってもよいかと思います。住宅建築で使用する用語は理解しているし、そういう点では、大工やインテリアコーディネーターからもスムーズに話ができると聞いています。



◇期待されていることは？

- 一 階段を一段ずつ着実に上がって、一人前になること、ひとりで仕事を任せられるようになることです。今は名刺に「補助」がついていますが、それがなくなって、資格を名刺に書けるようになって欲しいです。住宅の仕事は、引き渡したら終わりではなく、お客様とのお付き合いが長い仕事なので、今のお客様のサポートができるよう弊社で長く働くことも期待しています。

◇職業訓練を受講されて、仕事に役立っている点は？

- 一 パンフレットを拝見すると、住宅リフォーム技術科の内容はすべて役立っています。

◇当センターに期待することやご要望は？

- 一 安全教育の強化と労働災害に関する知識習得もお願いしたいです。

◇当センターの修了生以外で、未経験で入社された方は？

- 一 おります。2級建築士の資格はあるが、前職ではCADオペレーターの仕事をしてきた社員や、弊社で住宅を建築されたお客様だった社員がいます。経験者はそれまでの経験があるがゆえに、新しいことがなかなか身に付かない、例えば、「お客様」と言えなかったりすることもあるので、弊社の場合は、経験者だから採用、未経験者だから採用しないということではありません。

◇採用にあたり、重視されていることは？

- 一 現在弊社で活躍しているスタッフと合うかどうか、一番のポイントです。新しく人を採用すると、その人は弊社にとって新しい風になりますが、その風が逆風になっては元も子もないからです。それと、お客様と同じ感覚を味わえるか、そうした感性・感覚があるかどうかも重要です。例えば、面接では「これまで生きてきて、うれし涙を流したことがあるか」という質問をして、感性・感覚を確認しています。住宅建築の場合、男性より女性の方が感性を活かせるように感じています。当スタジオの半分以上が女性で、現場監督・施工管理以外は女性スタッフがおります。建築業者をどこにするかという決定権を持っているのは、お客様のうち9割が女性です。女性の方が、生活の導線も考えて、お客様のご希望に沿った提案・設計ができるようです。営業も男性だと、「夫のいるときに来て欲しい」とおっしゃるお客様もおられます。現場監督も、まだ容易に職人に受け入れられていない風潮がありますが、他社の女性の現場監督の仕事を見ると、現場で職人への指示等を出してきちんと仕事をされていました。

◇ものづくり分野への就職を希望・検討している方にメッセージをお願いします。

- 一 最近、住宅建築の業界も、まずお客様に会社訪問をしていただくのが主流になっています。長いお付き合いになるので、会社に行って、その建築業者と肌が合うかどうか、フィーリングが合うかを確認していただくためです。就職もそれと同じです。その企業とフィーリング、感覚が合うことが一番大事です。だから、求人に応

募する前に、ショールームや会社を訪問して欲しいです。

山陽地所株式会社 カンパニーハウジング山忠

所在地：(CONNECT STUDIO)

岡山市北区平野 655-53

(本社)

岡山市北区柳町 2-4-23

設立：昭和 46 年 6 月 (本社)

資本金：3,000 万円円

従業員数：42 名

事業内容：住宅の新築・リフォーム・
リノベーション



(取材後記)

- ◎福原専務取締役、朝元様、ご多忙のところ取材にご協力いただき、ありがとうございました。落ち着いた柔らかな空気の中でお話を伺いながら、お客様への細やかなご配慮や地域のみなさまの活動のご支援を肌で感じました。
- ◎朝元様は受講中から2級建築士取得を目標にされていました。就職が決まったときも、「自分の選んだ道だから頑張ります」とおっしゃいました。その目の奥に確固たる強い意志を感じました。
- ◎福原専務取締役をはじめ、職場のみなさまの温かくそして厳しいご指導・ご支援のもと、福原専務取締役のご期待どおり、朝元様は階段を一段ずつ着実に上がっていかれ、長くお勤めされることと信じております。

<2019年12月>